



令和5年5月15日
令和5年度学校だより NO.6②
加古川市立平荘小学校

「はるかのひまわり」プロジェクトが始まりました

今年も、児童会が主体となって「はるかのひまわり」を育てます。
このプロジェクトの目的は、「命の尊さを知ること」と「つながること」です。

先週、児童会が、お昼の放送や一斉下校の時に、「はるかのひまわりプロジェクト」の説明を行いました。そして、各クラスに「はるかのひまわり」の種を配りました。
今週、それぞれのクラスで「はるかのひまわり」の種を蒔く予定です。



《はるかのひまわり》の由来》

平成7年1月17日の明け方、5時46分、大きな地震が襲いました。木造の建物は、その揺れでひとたまりもなく崩れてしまい、2階部分が崩れ落ち、1階は完全に押しつぶされていました。

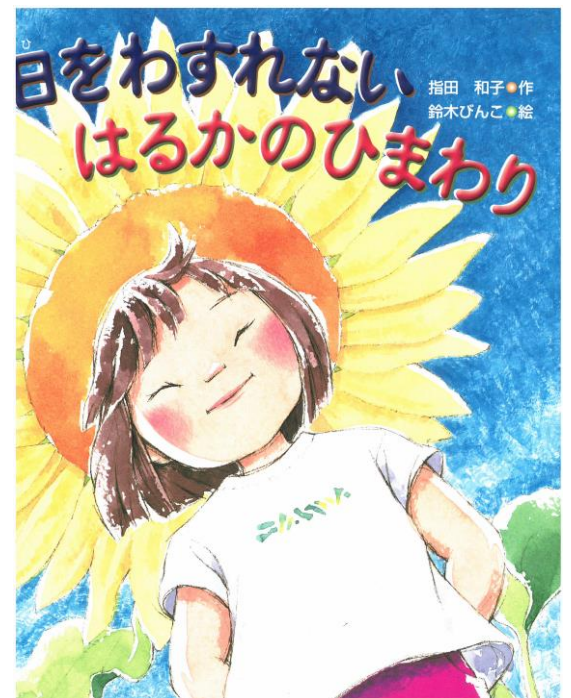
はるかちゃんがガレキの下から発見されたのは、地震発生から7時間後でした。

震災から半年後、かつてはるかちゃんの家があった空き地、はるかちゃんが亡くなった場所。驚いたことに、そこに無数のひまわりの花が、力強く、太陽に向かって咲いていました。お母さんはひまわりを見て、「娘がひまわりとなって帰ってきた」と涙しました。近所の人たちは、この花をこう呼びました。

『はるかのひまわり』

何も無くなってしまった町の空に、次々に咲いた大輪の花はたくさんの人を励まし勇気付けました。

《「はるかのひまわり絆プロジェクト」より》



両荘みらいプロジェクト：児童会が動いています

5月12日（金）に、児童会役員が、校長室にやってきました。「校長先生、私たちは、来年度開校の両荘みらい学園についてあまりわからないので、お話を聞きたいのですが・・・。」と。

自分たちで知りたいと思ったことを行動に移している子どもたち（児童会）を誇りに思います。



子どもたちには、両荘みらい学園について、どんなことを知っていて、どんなことを知りたいのかを尋ねてみました。

知っていることは、

- ・両荘中学校の場所に小学生も通うことになること。
- ・公民館が併設されること。
- ・スクールバスに乗って通学するようになること。（徒歩の人もあること）

と、話してくれました。不安に思うこともあるそうです。

（裏面に続く）

主体的に活動しています（児童会）

児童会役員が、両荘みらい学園について高学年集会を企画しています。



両荘みらい学園になっても、狂言学習ができますか。ぼくたちは、先輩の狂言を観て、自分たちも6年生になったら狂言をするのだとあこがれてきました。今年度で平荘小学校が閉校になってしまいます。狂言はどうなるのかなあと思っています。

私たちは、米作りをして良い体験ができました。手作業で田植えをしたり、手作業で稲刈り・脱穀をしたり、収穫した後に、餅つきをしたりしました。お米の販売もしました。とても楽しかったし、達成感がありました。両荘みらい学園になっても、米作り体験ができるのでしょうか。

今まで私たちが平荘小学校で受け継いできた学校行事や伝統はどうなるのでしょうか。

上荘小学校の人たちも、同じようなことを思っているのではないのでしょうか。



両荘みらい学園について、たくさん知りたいことが出てきましたね。市役所の人に両荘みらい学園についてお話をしてもらえようようにお願いしてみますか？

そこで、市役所（教育委員会）に児童会からお願いをすることにしました。

こんにちは。平荘小学校の児童会です。私たちは、両荘みらい学園について、あまり知らないなので、お話をお伺いしたいのですが、よろしいでしょうか。

高学年集会を計画しています。両荘みらい学園についてお話をしていただきたいのです。4～6年生がお話を聞きます。高学年集会の時間は45分間です。私たちから質問ができる時間もとっていただきたいです。よろしくお祈りします。



市役所（教育委員会）の人に両荘みらい学園についてお話をお伺いできることになりました。1～3年生の人たちには、高学年集会で学んだことを伝えます。楽しみです。（児童会）